

項目		見込評価	期間評価案
1 血管病医療	評価	A	A
	実績	ハイブリット手術室を活用したステントグラフト内挿術や経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI / TAVR）等の高度かつ低侵襲な医療の提供	ハイブリット手術室を活用したステントグラフト内挿術や経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI / TAVR）等の高度かつ低侵襲な医療を提供した。
		急性大動脈スーパーネットワーク及び東京都CCUネットワークへの参画による急性期血管病患者の積極的な受入れ	急性大動脈スーパーネットワークや東京都CCUネットワークへの参画による急性期血管病患者を積極的に受け入れた。
		東京都脳卒中救急搬送体制に参画し、超急性期及び急性期の脳卒中治療を脳卒中ケアユニット（SCU）において積極的に実施	東京都脳卒中救急搬送体制に参画し、超急性期及び急性期の脳卒中治療を脳卒中ケアユニット（SCU）において積極的に実施した。
評価案	血管病医療について、ハイブリッド手術室を活用した低侵襲な治療や多職種連携による早期リハビリテーションを着実に実施するとともに、急性期脳卒中患者に対してより適切な医療を提供するためSCUの活用を推進するなど、新型コロナ禍においても高齢者の多様な症例に対して低侵襲で効果的な治療の提供に努めたことは高く評価できる。	血管病医療について、ハイブリッド手術室を活用した低侵襲な治療や多職種連携による早期リハビリテーションを着実に実施するとともに、急性期脳卒中患者に対してより適切な医療を提供するため、SCUの活用を推進する等、高齢者の多様な症例に対して低侵襲で効果的な治療の提供に努めたことは高く評価できる。	

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目		見込評価	期間評価案
2 高齢者がん医療	評定	A	A
	実績	高度な技術を活用した正確かつ低侵襲ながんの鑑別診断を推進したほか、早期の胃がんや大腸がん等に対し、低侵襲な治療を推進	高度な技術を活用した正確かつ低侵襲ながんの鑑別診断を推進したほか、早期の胃がんや大腸がん等に対し低侵襲な治療を推進
		化学療法や放射線治療等、手術以外のがん治療の着実な実施	化学療法や放射線治療等、手術以外のがん治療の着実な実施
		がん相談支援センターにおいて、院内外のがん患者や家族、地域住民、医療機関等からの生活全般にわたる様々ながん相談に対応	がん相談支援センターにおいて、院内外のがん患者や家族、地域住民、医療機関等からの生活全般にわたる様々ながん相談に対応した。
評価案	低侵襲ながんの診断や高齢者の特性に合わせたがん医療の提供に取り組んだほか、がん相談支援センターにおいて、院内外のがん患者や家族等からの様々な相談に対応するなど、がん医療の充実を図ったことは高く評価できる。	低侵襲ながんの診断や高齢者の特性に合わせたがん医療の提供に取り組んだほか、がん相談支援センターにおいて、院内外のがん患者や家族等からの様々な相談に対応するなど、がん医療の充実を図ったことは高く評価できる。	

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目	見込評価	期間評価案
3 認知症医療	A	A
評価	A	A
実績	<p>アルツハイマー型認知症との区別が困難な認知症疾患の鑑別に対し技術開発を進めるなど、認知症の診断精度を向上</p> <p>認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する専門医療相談や研修を実施するとともに、認知症支援コーディネーターと連携し、認知症の疑いのある高齢者に対してアウトリーチ活動を実施</p> <p>「もの忘れ外来」や、「高齢者いきいき外来」において、認知症に関する専門的医療を適切に提供</p> <p>認知症評価シート（DASC-21）を原則全入院患者に実施し、認知症の早期ケアに努めた。</p>	<p><u>MRI、SPECT及び各種PET検査等の実施し、症例の収集とデータ解析を行ったほか</u>、アルツハイマー型認知症との区別が困難な認知症疾患の鑑別に対し技術開発を進めるなど、認知症の診断精度の向上に努めた。</p> <p>認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する専門医療相談や研修を実施するとともに、認知症支援コーディネーターと連携し、認知症の疑いのある高齢者に対してアウトリーチ活動を実施した。</p> <p>「もの忘れ外来」や、「高齢者いきいき外来」において、認知症に関する専門的医療を適切に提供した。</p> <p>認知症評価シート（DASC-21）を原則全入院患者に実施し認知症の早期ケアに努めた。</p>
評価案	<p>認知症医療について、高度な技術を活用して早期診断の推進及び診断精度の向上を図るとともに、地域の人材育成や地域連携の推進に努め、地域における認知症対応力の向上に貢献していることは高く評価できる。</p>	<p>認知症医療について、高度な技術を活用して早期診断の推進及び診断精度の向上を図るとともに、地域の人材育成や地域連携の推進に努め、地域における認知症対応力の向上に貢献していることは高く評価できる。</p>

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較

項目		見込評価	期間評価案
4 生活機能の維持・回復のための医療	評定	A	A
	実績	-	<u>フレイル外来を中心に、フレイル評価やフレイル発症を予防するための早期介入を実施した。</u>
		個々の患者の状態に応じた早期リハビリテーションの実施や多職種で構成する栄養サポートチーム（NST）による経口摂取支援等に取り組み、患者の早期回復や重症化予防に努めた。	個々の患者の状態に応じた早期リハビリテーションの実施や多職種で構成する栄養サポートチーム（NST）による経口摂取支援等に取り組み、患者の早期回復や重症化予防に努めた。
		高齢者総合機能評価（CGA）に基づき、入院時から退院後を見据えて個々の患者に適した退院支援を行い、早期退院及び退院後の生活の質（QOL）の確保につなげたほか、看護師の退院支援実践能力の向上に取り組んだ。	高齢者総合機能評価（CGA）に基づき、入院時から退院後を見据えて個々の患者に適した退院支援を行い、早期退院及び退院後の生活の質（QOL）の確保につなげたほか、看護師の退院支援実践能力の向上に取り組んだ。
		「治し支える医療」を通じて「高齢者医療モデル」の確立に取り組むとともに、普及に努めた。	「治し支える医療」を通じて、 <u>フレイルに配慮した</u> 高齢者医療モデルの確立に取り組むとともに、その普及に努めた。
評価案	急性期患者及び重症患者を積極的に受け入れ、適切な急性期医療を提供するとともに、高齢者に特有な疾患に対応した専門外来の実施や入院時から退院後を見据えて個々の患者に適した退院支援を行うことで、退院後の生活の質の確保に努めていることは高く評価できる。	急性期及び重症患者を積極的に受け入れ、適切な <u>医療</u> を提供するとともに、高齢者に特有な疾患に対応した専門外来の実施や入院時から <u>退院を視野に入れた治療の提供</u> と適切な退院支援を行うことで退院後の生活の質の確保に努めたこと、 <u>また、高齢者医療モデルの確立・普及に努めたこと</u> は高く評価できる。	

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目	見込評価	期間評価案
5 医療の質の確保・向上	評定	B
	実績	<p>専門看護師の合格者や認定看護師教育課程の修了者など、看護の質向上に貢献できる人材を育成</p> <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p>クリニカルパスの適用疾患の拡大に努めるとともに、D P Cデータを用いて既存のクリニカルパスを分析・検証するなど、医療の標準化と効率化を推進</p>
	評価案	<p>高齢者に特化した医療の提供に向けて、研修等の計画的な実施や専門資格の取得を推進した。</p> <p>また、高齢者の特性に配慮したクリニカルパスの分析や検証及び見直しを行うとともに、診療実績や臨床指標、D P Cデータをホームページに公開するなど、センター医療の透明性の向上に努めている。</p> <p>引き続き、医療の質の確保・向上に努めてほしい。</p>

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目		見込評価	期間評価案
6 救急医療	評定	A	A
	実績	二次救急医療機関及び東京都地域救急医療センターとして、地域の医療機関と連携しながら、救急患者の受入れを行った。	二次救急医療機関及び東京都地域救急医療センターとして、地域の医療機関と連携しながら、救急患者の受入れを行った。
		東京都が運営する新型コロナウイルス感染症患者の宿泊療養施設について、後方支援病院として急変患者の受入れに対応するなど、東京都の公的医療機関としての役割を果たした。	東京都が運営する新型コロナウイルス感染症患者の宿泊療養施設について、後方支援病院として急変患者の受入れに対応するなど、東京都の公的医療機関としての役割を果たした。
		救急医療に携わる医師・看護師のレベルアップを図る取組として、感染予防対策研修や急変時対応訓練等を実施	救急医療に携わる医師・看護師のレベルアップを図る取組として、感染予防対策研修や急変時対応訓練等を実施した。
評価案	地域の医療機関と連携した救急患者受入れ体制の強化や救急医療に関わる職員の育成などに取り組むことにより、二次救急医療機関及び東京都地域救急医療センターとして都民が安心できる救急医療を提供し、東京都の公的医療機関としての役割を果たしたことは高く評価できる。	地域の医療機関と連携した救急患者受入れ体制の強化や救急医療に関わる職員の育成などに取り組むことにより、二次救急医療機関及び東京都地域救急医療センターとして都民が安心できる救急医療を提供し、東京都の公的医療機関としての役割を果たしたことは高く評価できる。	

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目		見込評価	期間評価案
7 地域連携の推進	評定	B	B
	実績	連携医療機関等への定期的な訪問や、かかりつけ医紹介窓口の運用等により逆紹介を推進するなど、地域連携を推進	連携医療機関等への定期的な訪問やかかりつけ医紹介窓口の運用等により <u>紹介受入れの強化</u> 及び逆紹介を推進した。
		医療関係者向けのセミナーや臨床病理検討会の開催、連携医がWEBを通じて検査を依頼できる地域医療連携システム（C@RNAシステム）等の活用により、地域における疾病の早期発見・早期治療に向けて地域連携を強化	医療関係者向けのセミナーや臨床病理検討会の開催、 <u>地域医療連携システム（C@RNAシステム）による初診web予約の開始</u> 等により、地域における疾病の早期発見・早期治療に向けて地域連携を強化した。
		高齢診療科を開設し、多職種により老年症候群に対する精査加療、フレイル予防対策に取り組むとともに、地域の医療機関や訪問看護師との連携を強化し、退院後も継続して質の高い医療、介護を受けられる環境を整備	高齢診療科を開設し、多職種により老年症候群に対する精査加療、フレイル予防対策に取り組むとともに、地域の医療機関や訪問看護師との連携を強化し、退院後も継続して質の高い医療、介護を受けられる環境を整備した。
		板橋区との間で締結した協定に基づき、医薬品及び資器材の保管管理を継続したほか、東京都や板橋区と防災行政無線の通信訓練を定期的実施	<u>危機管理マニュアルに基づいた災害対策本部の運営訓練や、東京都及び板橋区との通信訓練を定期的実施するなど、災害拠点病院として必要な運営体制の確保に努めた。</u>
評価案	<p>かかりつけ医紹介窓口の周知に努め、逆紹介を推進するとともに、連携医療機関との定期的な打合せや高齢診療科の開設等地域連携の強化に取り組み、高齢者が地域において安心して医療を受けられる環境の確保に努めたことは評価できる。</p> <p>引き続き、地域の医療機関との更なる連携に努め、紹介率の向上を推進してほしい。</p>	<p>かかりつけ医紹介窓口の運用等により、<u>紹介・逆紹介</u>を推進するとともに、高齢診療科の開設や<u>地域医療連携システムによる初診WEB予約開始</u>などにより、<u>地域連携の強化に取り組んだほか、災害拠点病院としての運営体制の確保に努めたことは評価できる</u></p> <p>引き続き、地域の医療機関等との更なる連携や紹介率の向上に向けた取組の推進が求められる。</p>	

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目		見込評価	期間評価案
8 医療安全対策の徹底	評定	B	B
	実績	医療安全管理委員会を中心として、標準的な医療から逸脱した事例の収集や情報共有、分析を行うとともに、発生事例を基にした事例検討会を実施するなど、医療安全管理体制を更に強化	医療安全管理委員会を中心として、標準的な医療から逸脱した事例の収集や情報共有、分析を行うとともに、発生事例を基にした事例検討会を実施するなど、医療安全管理体制を更に強化した。
		転倒ハイリスク状態と評価された患者について、転倒転落カンファレンスシートで評価や対策の立案を実施	転倒ハイリスク状態と評価された患者について、転倒転落カンファレンスシートで評価や対策の立案を実施した。
		感染防止対策チーム（ICT）による病棟ラウンドの確実な実施により感染防止対策を徹底するとともに、地域の医療機関と感染防止対策連携カンファレンスを定期的実施するなど、地域全体で感染症防止対策に取り組んだ。	感染防止対策チーム（ICT）による病棟ラウンドの確実な実施により感染防止対策を徹底するとともに、地域の医療機関と感染防止対策連携カンファレンスを定期的実施するなど、地域全体で感染症防止対策に取り組んだ。
評価案	医療安全管理委員会を中心とした医療安全管理体制を確保したほか、新型コロナウイルス感染症本部会議を継続し、病院一丸となって新型コロナ対策に尽力したことは評価できる。 引き続き、医療安全対策の強化に努めてほしい。	医療安全管理委員会を中心とした医療安全管理体制を確保したほか、新型コロナウイルス感染症本部会議を継続し、病院一丸となって新型コロナ対策に尽力したことは評価できる。 引き続き、医療安全対策の強化に努めてほしい。	

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目		見込評価	期間評価案
9 患者中心の医療 向上の実践・ 患者サービス	評価	B	B
	実績	<p>セカンドオピニオン外来について広報活動を行い、患者やその家族が治療の選択・決定を医療者とともに主体的に行うことができるよう支援</p> <p>オンライン面会やインターネット診療予約等のサービス開始、ご意見箱に寄せられた要望や患者満足度調査の結果を踏まえた改善策の検討など、患者ニーズに対して迅速に対応</p>	<p>セカンドオピニオン外来について広報活動を行い、患者やその家族が治療の選択・決定を医療者とともに主体的に行うことができるよう支援している。</p> <p><u>新型コロナウイルス流行下における、面会が必要不可欠な症例に対する、PCR検査等後の最大限の直接面会</u>やオンライン面会の実施、ご意見箱に寄せられた要望を踏まえた改善策の実施など、患者ニーズに対して迅速な対応に努めた。</p>
	評価案	<p>新型コロナウイルス感染症流行下におけるPCR検査や抗原検査後の直接面会やオンライン面会の実施、患者の意見等に対する環境改善への取組など、患者サービスの向上に努めたことは評価できる。</p> <p>引き続き、患者満足度の向上を目指し、患者中心の医療の実践と取組状況の検証に取り組んでほしい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症流行下における直接面会やオンライン面会の実施、環境改善への取組など、患者サービスの向上に努めたことは評価できる。</p> <p>引き続き、患者満足度の向上を目指し、患者中心の医療の実践と取組状況の検証に取り組んでほしい。</p>

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目		見込評価	期間評価案
10	評価	S	S
高齢者に特有な疾患と老年症候群を克服するための研究	実績	<p>世界で初めて、老化細胞を誘導することで、膵臓がんの増殖と浸潤を抑えることが可能であることを明らかにするとともに、老化細胞死誘導薬の併用による画期的な治療法の可能性を示した。</p>	<p>世界で初めて、老化細胞を誘導することで、膵臓がんの増殖と浸潤を抑えることが可能であることを明らかにするとともに、老化細胞死誘導薬の併用による画期的な治療法の可能性を示した。</p>
		<p>咀嚼により大脳皮質の血流量が増加し、認知機能の向上などの作用を果たすこと、また、咀嚼をイメージするだけでも同様の効果が得られることを明らかにした。</p>	<p>咀嚼により大脳皮質の血流量が増加し、認知機能の向上などの作用を果たすこと、また、咀嚼をイメージするだけでも同様の効果が得られることを明らかにした。</p>
		<p>筋間質の間葉系前駆細胞の加齢変化がサルコペニア発症の一因となることを明らかにし、今後のサルコペニアの予防・治療法開発に貢献</p>	<p>筋間質の間葉系前駆細胞の加齢変化がサルコペニア発症の一因となることを明らかにし、今後のサルコペニアの予防・治療法開発に貢献した。</p>
	評価案	<p>高齢者に特有な疾患と老年症候群を克服するため、特に高齢者がんの中でも膵臓がんにも有効な新たな治療法を発見したほか、哺乳動物で新規に発見された糖鎖修飾分子が、筋疾患だけでなく他の老化関連疾患に関与する可能性を見だし、老化関連疾患に対して知見を与える成果を出したことは大いに評価できる。</p>	<p>高齢者に特有な疾患と老年症候群を克服するため、特に高齢者がんの中でも膵臓がんにも有効な新たな治療法を発見したほか、哺乳動物で新規に発見された糖鎖修飾分子が、筋疾患だけでなく他の老化関連疾患に関与する可能性を見だし、老化関連疾患に対して知見を与える成果を出したことは大いに評価できる。</p>

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目		見込評価	期間評価案
11 高齢者の地域での生活を支える研究	評定	A	A
	実績	大都市における認知症支援体制のモデル開発に向けて、住民や行政との信頼関係の醸成、評価・検証等を行い、地域ケアモデルの構築及びそれに続く社会実装の知見を得た。	大都市における認知症支援体制のモデル開発に向けて、住民や行政との信頼関係の醸成、評価・検証等を行い、地域ケアモデルの構築及びそれに続く社会実装の知見を得た。
		全国高齢者パネル調査のデータを用いて、地域在住の日本人高齢者全体のフレイル割合を初めて明らかにし、フレイル予防に関する施策の評価や研究の基準値等となり得る知見を示した。	全国高齢者パネル調査のデータを用いて、地域在住の日本人高齢者全体のフレイル割合を初めて明らかにし、フレイル予防に関する施策の評価や研究の基準値等となり得る知見を示した。
		独居高齢者におけるリスク要因について調査を行ったほか、新型コロナ流行下における社会的孤立について調査を行うなど、孤独・孤立に対する知見を示した。	独居高齢者におけるリスク要因について調査を行ったほか、新型コロナ流行下における社会的孤立について調査を行うなど、孤独・孤立に対する知見を示した。
		レセプトデータを用いた分析により、介護保険施設における医療専門職配置による再入院の予防効果、多疾患併存による要介護化・死亡リスクの増加、歯科受診による全身疾患の急性発症リスクの予防効果及び退院直後からのリハサービス利用による要介護重度化の予防効果を明らかにした。	レセプトデータを用いた分析により、介護保険施設における医療専門職配置による再入院の予防効果、多疾患併存による要介護化・死亡リスクの増加、歯科受診による全身疾患の急性発症リスクの予防効果及び退院直後からのリハサービス利用による要介護重度化の予防効果を明らかにした。
		東京都や自治体と連携し、「高齢者の健康づくりに資するスマートウォッチ等デジタル機器活用事業」を開始した。	東京都や自治体と連携し、「高齢者の健康づくりに資するスマートウォッチ等デジタル機器活用事業」を開始した。
評価案	高齢者の地域での生活を支える研究として、高島平地区を拠点として総合的研究を行い、国際誌への発表を行うなど地域ケアモデルの構築に貢献したほか、フレイル予防や高齢者の就労促進に係る研究を推進してきたことは高く評価できる。	高齢者の地域での生活を支える研究として、高島平地区を拠点として総合的研究を行い、国際誌への発表を行うなど地域ケアモデルの構築に貢献したほか、フレイル予防や高齢者の就労促進に係る研究を推進してきたことは高く評価できる。	

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目	見込評価	期間評価案
12	A	A
老年学研究におけるリーダーシップの発揮	評定	
	実績	
	評価案	

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目		見込評価	期間評価案
13 研究推進のための基盤強化と成果の還元	評定	S	S
	実績	<p>研究全般を推進する基盤を強化するために研究支援組織「健康長寿イノベーションセンター(H A I C)」を立ち上げ、保有する知的財産の管理・活用のため、新たにクラウド型特許データベースを活用した知的財産管理業務委託を開始する等、センター全体の良質な知財創出を継続的に推進したことで、特許新規申請件数や知財収入の実績を伸ばした。また、ワンストップ窓口を新設し、企業・大学・自治体等との連携の際、研究立案の早期から契約相談を受け付け、秘密情報や研究成果の保護など支援体制を整備</p>	<p>研究全般を推進する基盤を強化するために研究支援組織「健康長寿イノベーションセンター(H A I C)」を立ち上げ、保有する知的財産の管理・活用のため、新たにクラウド型特許データベースを活用した知的財産管理業務委託を開始する等、センター全体の良質な知財創出を継続的に推進したことで、特許新規申請件数や知財収入の実績を伸ばした。また、ワンストップ窓口を新設し、企業・大学・自治体等との連携の際、研究立案の早期から契約相談を受け付け、秘密情報や研究成果の保護など支援体制を整備した。</p>
		<p>外部評価委員会を通じて各研究成果や実現可能性等について評価を受けることで、より効率的・効果的な研究活動を推進し、外部資金獲得金額を伸ばした。</p>	<p>外部評価委員会を通じて各研究成果や実現可能性等について評価を受けることで、より効率的・効果的な研究活動を推進し、外部資金獲得金額を伸ばした。</p>
		<p>厚生労働大臣の認定を受けた臨床研究審査委員会を設置し都立病院等からも審査業務を受託するなど、臨床研究に対する信頼を確保</p>	<p>厚生労働大臣の認定を受けた臨床研究審査委員会を設置し、都立病院等からも審査業務を受託するなど、臨床研究に対する信頼を確保した。</p>
		<p>定期的な講演会の開催や研究所NEWSの発行、積極的なプレス発表、Y o u T u b e 動画などにより、研究所の研究成果や取組について都民へ普及</p>	<p>定期的な講演会の開催や研究所NEWSの発行、積極的なプレス発表、Y o u T u b e 動画などにより、研究所の研究成果や取組について都民へ普及した。</p>
評価案	<p>研究推進のための基盤強化と成果の還元のため、設置された臨床研究審査委員会が迅速審査可能になるよう厚生労働省から認定を受けたほか、ワンストップ窓口の新設により、企業・大学・自治体等との連携の際、研究立案の早期から契約相談を受け付け、秘密情報や研究成果の保護など支援体制を整備したことは高く評価できる。</p>	<p>研究推進のための基盤強化と成果の還元のため、設置された臨床研究審査委員会が迅速審査可能になるよう厚生労働省から認定を受けたほか、ワンストップ窓口の新設により、企業・大学・自治体等との連携の際、研究立案の早期から契約相談を受け付け、秘密情報や研究成果の保護など支援体制を整備したことは高く評価できる。</p>	

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目		見込評価	期間評価案
14 医療と研究が一体となった取組の推進	評定	A	A
	実績	「健康長寿イノベーションセンター(HAIC)」を中心として新たな治療法の開発や実用化が見込まれる研究に対して資金及び研究進捗、出口戦略コンサルテーションを行い実用化研究を重点支援するとともに、第三期中期計画に掲げる老年学・老年医学に係る高い研究成果の創出を支援	「健康長寿イノベーションセンター(HAIC)」を中心として新たな治療法の開発や実用化が見込まれる研究に対して資金及び研究進捗、出口戦略コンサルテーションを行い実用化研究を重点支援するとともに、第三期中期計画に掲げる老年学・老年医学に係る高い研究成果の創出を支援した。
		認知症高齢者等を地域で支える支援体制を構築するため、認知症サポート医や看護師等を対象とした研修を実施するほか、区市町村、島しょ地域や檜原村での研修、活動支援も実施	認知症高齢者等を地域で支える支援体制を構築するため、認知症サポート医や看護師等を対象とした研修を実施するほか、区市町村、島しょ地域や檜原村での研修、活動支援も実施した。
		令和2年度に創設した「認知症未来社会創造センター(IRIDE)」において、将来的な社会還元を見据えた取組として、センターが保有するビッグデータを活用した認知症研究のプラットフォーム「TOKYO健康長寿DB」の構築や、AIによる認知症診断支援システム等の開発に関する研究を実施	令和2年度に創設した「認知症未来社会創造センター(IRIDE)」において、将来的な社会還元を見据えた取組として、センターが保有するビッグデータを活用した認知症研究のプラットフォーム「TOKYO健康長寿DB」の構築や、AIによる認知症診断支援システム等の開発に関する研究を実施した。
	東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター事業として、介護予防に加えてフレイル予防についても、普及啓発や人材育成を促進するとともに、フレイル外来において地域の総合的なフレイル対策を立てたことで、東京都の介護予防施策に貢献	東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター事業として、介護予防に加えてフレイル予防についても、普及啓発や人材育成を促進するとともに、フレイル外来において地域の総合的なフレイル対策を立てたことで、東京都の介護予防施策に貢献した。	
評価案	コロナ禍においても、TOBIRAを活用し柔軟な研究開発を行い実用化に貢献したこと、IRIDEを活用して各種取組を実施し、認知症支援の推進をしたこと、介護予防に加えてフレイル予防についても、普及啓発や人材育成を促進し、区市町村の活動支援を行うとともに、都の介護予防策に貢献したことは高く評価できる。	コロナ禍においても、TOBIRAを活用し柔軟な研究開発を行い実用化に貢献したこと、IRIDEを活用して各種取組を実施し、認知症支援の推進をしたこと、介護予防に加えてフレイル予防についても、普及啓発や人材育成を促進し、区市町村の活動支援を行うとともに、都の介護予防策に貢献したことは高く評価できる。	

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目	見込評価	期間評価案
15	B	B
高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成	実績	センターの認定看護師・専門看護師による意見交換会の開催や専門相談窓口での相談受付を通して、地域の訪問看護師との連携を強化し、高齢者の在宅医療を支える人材の育成に貢献
	評価案	地域の訪問看護師等への支援を通じて地域の専門人材の育成に取り組むとともに、研修生や学生の受入れなどを行い、今後の高齢者医療・研究を担う人材の育成に貢献したことは評価できる。 今後も、地域の医療・介護人材の育成に更に取り組んでほしい。
	実績	センターの認定看護師・専門看護師による意見交換会の開催等を通して、地域の訪問看護師との連携を強化したほか、 <u>東京都医師会や東京都栄養士会等と連携し、フレイルサポート医や栄養士を育成するための研修を実施するなど、地域における人材育成に貢献した。</u>
実績	医師や研究員の大学等への派遣、医学生・研修医を対象とした高齢医学セミナーの開催、連携大学院や他大学等からの学生の受入れ等を通して、次世代の高齢者医療・研究を担う人材の育成に貢献	医師や研究員の大学等への派遣、医学生・研修医を対象とした高齢医学セミナーの開催、連携大学院や他大学等からの学生の受入れ等を通して、次世代の高齢者医療・研究を担う人材の育成に貢献した。

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目		見込評価	期間評価案
16 地方独立行政法人の 改善・効率化 の特性を活かした業務の	評定	B	B
	実績	医療情報戦略課を中心として、診療情報や財務情報等のデータに基づく経営分析を行い、入退院支援の強化など診療報酬改定等を踏まえた経営戦略を検討	医療情報戦略課を中心として、診療情報や財務情報等のデータに基づく経営分析を行い、 <u>平均在院日数の適正化や病床利用率の向上、外部研究員の受入れ等</u> 、様々な経営戦略を検討した。
		職員提案による新型コロナウイルス感染症拡大防止やコロナ禍での経営改善に向けた取組の実施	職員提案による新型コロナウイルス感染症拡大防止やコロナ禍での経営改善に向けた取組の実施した。
		インターネット予約サービスの開始や医師事務作業補助者の積極的な活用により、患者サービスの向上、医師の事務負担軽減を図った。	インターネット予約サービスの開始や医師事務作業補助者積極的な活用により、患者サービスの向上、医師の事務負担軽減を図った。
		看護師に加えて、事務・コメディカルについても、専門資格手当や指導手当、研修講師手当などの特別対策手当を新たに創設するなど、人材育成・定着対策に取り組んだ。	看護師に加えて、事務・コメディカルについても、専門資格当や指導手当、研修講師手当などの特別対策手当を新たに創設するなど、人材育成・定着対策に取り組んだ。
評価案	今後の病院経営を見据えた経営戦略の検討に取り組むとともに、職員提案制度の活用やインターネット予約サービスの開始、医師事務作業補助者の積極的な活用等により、業務の改善・効率化と患者サービスの向上の両立を推進したことは高く評価できる。	今後の病院経営を見据えた経営戦略の検討に取り組むとともに、職員提案制度の活用やインターネット予約サービスの開始、医師事務作業補助者の積極的な活用等により、業務の改善・効率化と患者サービスの向上の両立を推進したことは評価できる。 <u>引き続き、更なる業務の改善・効率化に取り組んでほしい。</u>	

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目		見込評価	期間評価案
17	評定	B	B
適切な法人運営を行うための体制の強化	実績	法人の業務活動全般にわたって内部監査を行うとともに、監事、会計監査人と連携し、指摘された事項や改善を求められた事項に適切に対応するなど、法人運営の透明性及び健全性の確保に努めた。	法人の業務活動全般にわたって内部監査を行うとともに、監事、会計監査人と連携し、指摘された事項や改善を求められた事項に適切に対応するなど、法人運営の透明性及び健全性の確保に努めた。
		全職員を対象に、医療法をはじめとする関係法令や高齢者医療及び研究に携わる者の行動規範と倫理に係るコンプライアンス研修を実施	全職員を対象に、医療法をはじめとする関係法令や高齢者医療及び研究に携わる者の行動規範と倫理に係るコンプライアンス研修を実施した。
		法人において雇用した保険指導の専門家の指導により、職員に対するカルテ記載内容の突合作業訓練を実施するなど、適切な保険請求に向けた取組を強化	法人において雇用した保険指導の専門家の指導により、職員に対するカルテ記載内容の突合作業訓練を実施するなど、適切な保険請求に向けた取組を強化した。
評価案	適切な保険請求に向けた取組や研究活動の不正防止に向けた取組の推進など、職員の法令遵守・倫理の徹底に取り組んだことは評価できる。 引き続き、コンプライアンス研修の着実な実施など、内部統制の強化に向け、継続した取組が求められる。	適切な保険請求に向けた取組や研究活動の不正防止に向けた取組の推進など、職員の法令遵守・倫理の徹底に取り組んだことは評価できる。 引き続き、コンプライアンス研修の着実な実施など、内部統制の強化に向け、継続した取組が求められる。	

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目	見込評価	期間評価案	
	A	A	
18 収入の確保	評価		
	実績	<p>診療報酬改定に伴うクリニカルパスの見直しや病床の一元管理等を通じて救急患者の積極的な受入れや新規入院患者を確保</p> <p>新たな施設基準の取得のほか、施設基準等管理部会を新設し、施設基準に関する要件等を組織的かつ定期的に確認</p> <p>文部科学省や厚生労働省などの競争的資金への応募や健康長寿イノベーションセンター（H A I C）を中心とした共同研究・受託研究を推進し、外部研究資金の積極的な獲得につなげたほか、研究成果の実用化に向けた「職務発明審査会」を開催し、新規特許出願につなげた。</p>	<p>診療報酬改定に伴うクリニカルパスの見直しや病床の一元管理等を通じた救急患者の積極的な受入れや<u>初診web予約の積極的な活用による紹介患者の獲得等により</u>医業収入の確保を図った。</p> <p>新たな施設基準の取得のほか、施設基準等管理部会を新設し、施設基準に関する要件等を組織的かつ定期的に確認するなど、<u>管理体制強化に取り組んだ。</u></p> <p>文部科学省や厚生労働省などの競争的資金への応募や健康長寿イノベーションセンター（H A I C）を中心とした共同研究・受託研究を推進し、外部研究資金の積極的な獲得につなげたほか、研究成果の実用化に向けた「職務発明審査会」を開催し、新規特許出願につなげた。</p>
	評価案	<p>診療報酬改定に伴うクリニカルパスの見直しや新たな施設基準の取得、外部研究資金の積極的な獲得など、収入の確保に努めたことは評価できる。</p> <p>引き続き、医業収入の一層の確保が求められる。</p>	<p>診療報酬改定に伴うクリニカルパスの見直しや新たな施設基準の取得、外部研究資金の積極的な獲得など、収入の確保に努めたことは評価できる。</p> <p>引き続き、医業収入の一層の確保が求められる。</p>

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目	見込評価	期間評価案
19 コスト管理の体制強化	A	A
評価	A	A
実績	<p>診療材料及び医薬品について、ベンチマークシステムを活用し納入業者と価格交渉を行い材料費等を抑制。また、大型の委託契約について業務内容の見直しを進め、委託費等のコスト管理を推進</p> <p>病院運営会議等において、診療科別原価計算結果を定期報告し、各診療科に収支指標を継続発信するとともに、経営戦略会議において法人の経営実績や課題を共有しコスト管理や収益性の意識向上を図った。あわせて、各科ヒアリングを通じて各診療科が収支改善へ行動目標を作成し、収益の改善に向けた取組を推進</p>	<p>診療材料及び医薬品について、ベンチマークシステムを活用し納入業者と価格交渉を行い材料費等を抑制するとともに、また、大型の委託契約について業務内容の見直しを進め、委託費等のコスト管理を推進した。</p> <p>病院運営会議等において、診療科別原価計算結果を定期報告し、各診療科に収支指標を継続発信するとともに、経営戦略会議において法人の経営実績や課題を共有しコスト管理や収益性の意識向上を図った。あわせて、各科ヒアリングを通じて各診療科が収支改善へ行動目標を作成し、収益の改善に向けた取組を推進した。</p>
評価案	<p>材料費、医薬品費及び委託費等の見直しを図り、コスト管理を推進したほか、診療科別原価計算の分析等により、経営意識向上と改善活動を推進し、収支改善に努めたことは高く評価できる。</p>	<p>材料費、医薬品費及び委託費等の見直しを図り、コスト管理を推進したほか、診療科別原価計算の分析等により、経営意識向上と改善活動を推進し、収支改善に努めたことは高く評価できる。</p>

※下線が見込評価からの変更点

第三期見込評価・第三期期間評価案比較表

項目		見込評価	期間評価案
20	評価	A	A
その他業務運営に関する重要事項（法人運営におけるリスク管理の強化）	実績	情報セキュリティ・個人情報保護合同研修をeラーニング形式にするとともに研修内容を振り返ることができる環境を整備し、受講率100%を達成	<u>サイバー攻撃への対策を強化するとともに</u> 、全職員を対象としたeラーニングによる情報セキュリティ研修・個人情報保護研修を実施し、 <u>情報セキュリティに対する職員の意識向上を図った。</u>
		職員の健康管理及び安全な職場環境の確保のため、ストレスチェックやハラスメント防止対策を継続実施し、事務部門のノー残業デーなどの取組も実施	職員の健康管理及び安全な職場環境の確保のため、ストレスチェックやハラスメント防止対策を継続実施し、事務部門のノー残業デーなどの取組も実施した。
		令和2年度以降の新型コロナウイルス感染症の流行下において、機動的な経営判断や弾力的な予算執行をより一層推進することで、病院と研究所の連携によるPCR検査体制を迅速に整備するなど、法人事業を継続	<u>災害拠点病院として、地域の関係機関との各種訓練や備蓄資機材の適正な維持管理を実施した。</u>
		新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関及び新型コロナ疑い救急患者の東京ルール参画医療機関として受入専用病床を確保するとともに、都の設置する宿泊療養施設やワクチン大規模接種会場等へセンターの看護師・薬剤師・臨床工学技士を派遣するなど、公的医療機関としての役割を果たした。	新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関として及び新型コロナ疑い救急患者の東京ルール参画医療機関として <u>新型コロナ患者の積極的な受け入れを行うとともに</u> 、東京都が設置する宿泊療養施設や大規模ワクチン接種会場等へセンターの <u>医療従事者</u> を派遣するなど、公的医療機関としての役割を果たした。
	評価案	情報セキュリティや個人情報保護等に係る取組の実施や、コロナ禍における職員へのサポートの実施及び危機管理体制の確保並びに公的医療機関の役割を果たしたことは高く評価できる。 引き続き、安定的に業務を行うため、組織全体でリスク管理に取り組んでほしい。	情報セキュリティや個人情報保護等に係る取組を実施したほか、 <u>職員へのサポート体制の充実を図り、職員の健康と良好な職場環境の確保に努めた。</u> <u>また、危機管理体制の確保やコロナ禍における対応等により</u> 公的医療機関としての役割を果たしたことは高く評価できる。

※下線が見込評価からの変更点